



設計、施工そしてファシリティー・マネージメントまで
建設ワークフロー全体をサポートする BIM ソリューション



優れた価値と競争優位を実現

Autodesk Building Design Suite は、より効果的な設計やコミュニケーションを実現する総合的な BIM ソリューションです。

Autodesk Building Design Suite 活用メリット

規格に準拠した設計を実現

- 意匠設計向けツールで作業効率をアップ
- CAD ベースと BIM ベースの両方のワークフロー

より効率的に設計

- 高度で情報豊富なモデルを使用した設計
- 設計の代替案を検討して最適なオプションを選択

視覚化によるコラボレーションで、さまざまな設計案を検討

- ビジュアライゼーションで設計の意図をわかりやすく提示

より多くの情報に基づいた意思決定

- エネルギー解析ツールでより効率の高い設計

解析とシミュレーション

- 無駄を削減し、総エネルギー消費量を最小化
- 設計の初期段階でシミュレーションを繰り返して建物性能を分析
- 着工前に設計を評価

それぞれの設計チームとのコラボレーション

- 着工前に不整合を解決
- 設計情報を施工図作成会社、製造系会社、施工・建設会社と共有
- 設計から製作まで、より正確な設計図書作成

より優れた機械・電気・配管 (MEP) システムを設計

- BIM を使用して設計の正確性を向上
- 複雑なビルディング システムをより効率的に設計
- 3D モデルを使用した設計のコーディネーションを促進

ビジュアライズによるプロジェクトの理解を深める

- 統合ビジュアライゼーション ツールで速やかな意思決定を促す

視覚的にプロジェクトの施工性を検討

- プロジェクトの複雑度、工数と資材の量を推測
- データを集約して、プロジェクト全体をレビュー

- 現場施工計画と工程をより効果的に調整

コストをより効果的に管理

- 部材数量をすばやく積算
- より正確な予算管理

プロジェクトのより正確な予測とコミュニケーション

- 工程と資材調達を 4D でシミュレーション
- 施工範囲の変更を迅速に評価
- 予測と実際の計画を検証

様々なビジネス ニーズに対応できるように 3 種類の Autodesk Building Design Suite エディションを用意しております。オートデスクの豊富な製品群から、必要に応じたスイート製品をご選択ください。

Autodesk® Building Design Suite Standard:

DWG™ファイル形式で効率的に設計、設計図書作成、図面の共有を行える、建築設計者、作図者、詳細設計者向けの基本ツール セットです。

- 設計、設計図書の作成、DWG 図面の共有
- 建築業界用に作成された AutoCAD® 各バージョンの活用
- 設計イラストやグラフィックスによるコミュニケーション ツールを利用した、アイデアのより効果的な表現

Autodesk® Building Design Suite Premium:

Autodesk® Revit® 製品による BIM のパワー、使い慣れた AutoCAD® での効率的な設計図書作成、Autodesk® 3ds Max® での魅力的なビジュアライゼーションのために最適なツールセットを提供する、設計者とエンジニア向けのソリューションです。

- インテリジェントな 3D モデルベースの設計を活用して、より良い建物の設計と建設・施工を推進
- 分かりやすいビジュアルを作成して、アイデアを効果的にプレゼンテーション
- 統合された解析機能を使用して、より多くの情報に基づく、設計、建設・施工での意思決定を実現

Autodesk® Building Design Suite Ultimate:

設計から建設・施工までの段階に対応する高度なツールセットで、BIM の全パワーを提供します。建築プロフェッショナル向けの本製品には、Premium エディションに加えて、専門分野間の連携を総合的に実現する Autodesk® Navisworks® Manage、建材メーカーや製造業者とのより効率的なコラボレーションを支援する Autodesk® Inventor® などが含まれます。



Autodesk Building Design Suite は、以下の方法で役立ちます。

- BIM ソフトウェアとインテリジェントな 3D モデルを利用して、より優れた建物の建設を推進します。
- 統合された解析機能を使用して設計・施工での意思決定を行うことができます。
- 魅力的なビジュアライゼーションやウォークスルーを使用してアイデアをより効果的に提案します。
- 整合性のある、より高品質な設計図書や現況モデルを作成します。
- プロジェクトの工期を短期化して、設計のコストを削減します。
- 建物のライフサイクル全体を正確に理解し、プロジェクトの成果をよりきめ細かく制御します。

BUILDING DESIGN SUITE 2016 エディション		Standard	Premium	Ultimate
最適なユーザー		デザイナー、 CAD オペレータ	建築設計者、 エンジニア	施工専門家
	AutoCAD® パワフルな設計と図面化ツールで、設計図書作成のスピードアップ、アイデアの共有、3D コンセプトの検討が可能です。	✓	✓	✓
	AutoCAD® Architecture 意匠設計用の専用機能を、使い慣れた AutoCAD で使用できます。	✓	✓	✓
	AutoCAD® MEP (英語) 建築設備設計者と CAD オペレータ向けに設計された専用機能を AutoCAD で使用できます。	✓	✓	✓
	Autodesk® Showcase® AutoCAD による設計と Revit によるモデルを説得力のある画像、動画、プレゼンテーションに簡単に変換できます。	✓	✓	✓
	AutoCAD® Raster Design (英語) パワフルなラスター編集ツールとラスター - ベクトル変換ツールを AutoCAD ベースのソフトウェアに追加できます。	✓	✓	✓
	Autodesk® ReCap™ (英語) ReCap リアリティ キャプチャ ソフトウェアとサービスを使用して、実世界のデータをキャプチャし、設計プロセスに直接統合できます。	✓	✓	✓
	Autodesk® 3ds Max 映画品質のビジュアルや動画を作成して設計の意図を伝え、アピールすることができます。		✓	✓
	Autodesk® Navisworks® Simulate 複数のモデルを統合して、コラボレーションの改善、施工のシミュレーション、数量拾い、レビューの強化を可能にします。		✓	
	Autodesk® Navisworks® Manage 複数のソースからのデータを統合して、プロジェクト全体のレビューと干渉チェックによるコーディネーションを促進します。			✓
	Autodesk® Revit® 建築設計、構造設計、機械・電気・配管 (MEP) エンジニアリング、施工のためのビルディングインフォメーション モデリング (BIM) ツールをご利用ください。		✓	✓
	Autodesk® Inventor® 3D 機械 CAD、ビジュアライゼーション、およびドキュメント ソフトウェアで、製造向けに建築コンポーネントを設計することができます。			✓
	Autodesk® Robot® Structural Analysis Professional 高度な構造解析ツールで、大きく複雑な構造タイプの線形および非線形の動作について調べることができます。			✓

Maintenance または Desktop Subscription のご契約で追加される特典 (※)

A360 Drive (25GBの追加ストレージ容量)	✓	✓	✓
Rendering in Autodesk A360	✓	✓	✓
Autodesk Remote	✓	✓	✓
Autodesk® Green Building Studio® (英語)	✓	✓	✓
Energy Analysis for Autodesk® Revit®		✓	✓
Structural Analysis for Autodesk® Revit®		✓	✓
Lighting Analysis for Autodesk® Revit®		✓	✓
Autodesk® InfraWorks® 360 LT			✓

Autodesk Building Design Suite は、設計・施工のあらゆる工程を高いコスト効率で管理する包括的なツールセットを提供します。

※ Maintenance Subscription をご契約、または Desktop Subscription をご購入いただくとご利用いただけます。



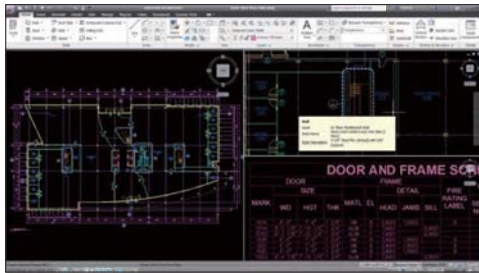
インテリジェントな 3D をベースにした建築および建設向け設計ソフトウェアで、最良の設計、施工をサポートいたします。Building Design Suite は、ビルディング インフォメーション モデリング (BIM) のパワーを実感できる、設計および設計図書作成、ビジュアライゼーション、性能分析、プロジェクト コラボレーション向けのツールを搭載しているため、プロジェクトでのビルディング インフォメーション モデリング(BIM) または CAD の必要性に関わらず、多くのプロジェクトに対応できます。

Desktop Subscription では、最も低い初期費用で Building Design Suite を使用することができます。最新リリース、1 対 1 の Web サポート、フォーラムでの優先サポート、柔軟なライセンス、クラウドサービスなどを利用できます。

建築設計とドキュメント作成

包括的な CAD

STANDARD、PREMIUM、ULTIMATE



建築業界向けに作成された CAD ツール セットを使用して、生産性を最大化することができます。AutoCAD Architecture や AutoCAD MEP(英語) など、AutoCAD をベースとした強力な関連設計プログラムと関連ドキュメント作成プログラムを使用して作業することができます。

強力な BIM ソフトウェア

PREMIUM、ULTIMATE



コンセプトの立案から最終的な施工に至るまで、ビルディング インフォメーション モデリング(BIM) ツールを使用してインテリジェントな 3D 建築設計を作成することができます。建築設計と施工の専門家は、BIM 用に開発された Revit を使用して、エネルギー効率に優れた高品質な建物を建設して管理することができます。このソフトウェアには、建築設計用の機能、機械、電気、給排水設備などの設備設計者用機能、構造設計者用機能が含まれています。

点群データの表示と編集

STANDARD、PREMIUM、ULTIMATE



ReCap リアリティ キャプチャ ソフトウェアの編集ツールと選択ツールを使用して、スキャンされた点群データのクリーンアップ、編成、視覚化を行うことができます。Revit (Premium エディションおよび Ultimate エディション) で、3D スキャナーで取得した現況のインテリジェントな 3D データを使用すると、より正確で迅速な改修のワークフローを作成することができます。Navisworks (Premium エディションおよび Ultimate エディション) を使用して、現況のスキャンデータを設計データと比較して施工を検証することができます。

スキャンした 2D データを取り込む

STANDARD、PREMIUM、ULTIMATE



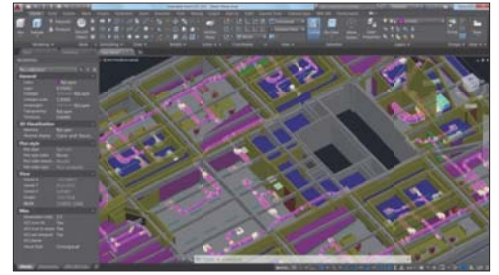
AutoCAD をベースとするソフトウェアで、強力なラスター編集ツールとラスター - ベクトル変換ツールを使用することができます。AutoCAD Raster Design (英語) により、使い慣れた AutoCAD 環境でスキャンした図面やプランを編集、拡張、管理することができます。ほとんどのラスター イメージ、地図、航空写真、衛星写真、デジタル標高モデル (DEM) を利用できます。

建築プロジェクトのコラボレーション

AutoCAD 2016 による BIM コーディネーション

新機能

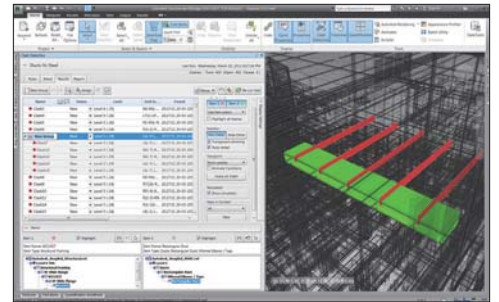
PREMIUM、ULTIMATE



AutoCAD 2016 で新しい BIM コーディネーション モデル機能を使用して、AutoCAD で Navisworks モデルを開き、プロジェクト コーディネーションを上流方向にプッシュできるようになりました。設計者は、統合された Navisworks モデルを、干渉を回避するためのアンダーレイとして使用して、AutoCAD 上でモデリングできるようになりました。

統合したモデルで干渉を検出

ULTIMATE



Navisworks Manage を使用して、着工前に、設計上の不整合を視覚的に簡単に検出して解決することができます。このソフトウェアに付属する高度なコーディネート ツール、4D/5D 施工シミュレーション ツールを使用して、プロジェクトの成果をコントロールすることができます。Navisworks 機能を使用して、コーディネート、施工シミュレーション、プロジェクト全体の分析を実行することにより、総合的なプロジェクト レビューを行うことができます。

コストのかかるスケジュールの遅延を防ぐ

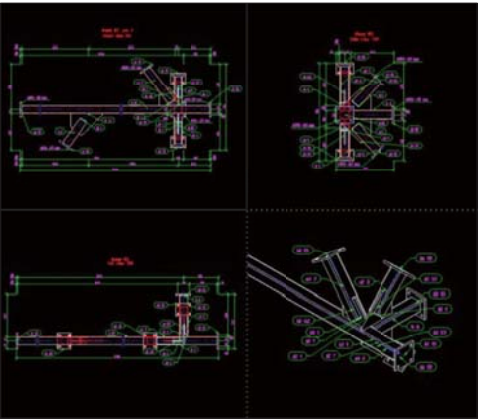
PREMIUM



設計シミュレーションとプロジェクト レビュー用の Navisworks Simulate により、プロジェクトの着工前に、詳細な情報をバーチャル環境から取得することができます。このソフトウェアで 4D/5D 施工シミュレーションを使用して、プロジェクトの詳細を検討

し、その結果を他のメンバーに伝えることができます。Navisworks 機能を使用して、コーディネーション、施工シミュレーション、プロジェクト全体の分析を実行することにより、総合的なプロジェクト レビューを行うことができます。

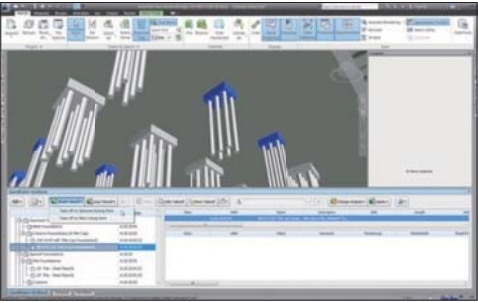
製作図面をすばやく作成
ULTIMATE



3D CAD ソフトウェア Inventor により、製作用の建築コンポーネントを設計することができます。Inventor には、建築設計者、エンジニア、施工の専門家が、建築コンポーネントを製作するメーカーやファブリケーターとコラボレーションを行うための各種ツールが付属しています。Inventor を使用して設計の意図を理解することにより、建物や構造に対する現代の要求に応えることができます。

建築シミュレーション

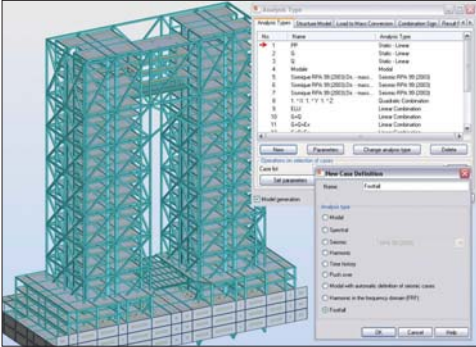
強力な数量拾いツール
PREMIUM、ULTIMATE



Navisworks を使用して、複数の専門分野にわたる設計モデルから建材の数量拾いを実行することにより、設計からコスト見積りまでのワークフローをより円滑に実施することができます。Navisworks Manage と Navisworks Simulate の数量拾い機能により、統合された 2D および 3D のデータセットの数量をプロジェクトに取り込むことができます。数量拾い機能により、以下のことを行うことができます。

- プロジェクトの統合モデルから数量拾いを実行
- モデル プロパティから数量を取得
- プロパティを持たないモデル オブジェクトに数量化データを連携
- モデル化されていないものを仮想数量拾い

構造設計シミュレーション
ULTIMATE



Robot Structural Analysis Professional を使用して、大規模で複雑な構造物の高度な建築シミュレーションと解析をすばやく実行することができます。構造エンジニアは、このソフトウェアを使用してより円滑なワークフローを実行し、さまざまな構造物のシミュレーションと解析を行うことができます。ソフトウェアの使用で次のことが可能になります。

- Revit から構造モデルまたはレビュー モデルを作成
- 必要とされる総合解析を実行
- シミュレーションの完了後に、結果を可視化して検討
- 設計基準に基づき鋼梁およびコンクリート要素を設計

建築ビジュアライゼーション

3D プレゼンテーション ソフトウェア
STANDARD、PREMIUM、ULTIMATE



3D ビジュアライゼーションソフトウェア Showcase (英語) を使用して、AutoCAD と Revit の設計を、3D イメージ、ムービー、インタラクティブなプレゼンテーションに変換することができます。これにより、設計案を効果的に伝え、意思決定を促進することができます。臨場感のある 3D プレゼンテーションを作成し、チーム メンバーや顧客とともに、設計オプションをリアルタイムに検討することができます。メンバーや顧客が同じ部屋にいるか世界中に分散しているにかかわらず、その場で意思決定を行うことができます。

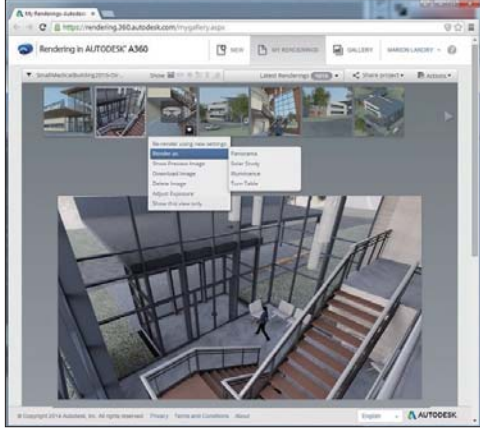
3D ビジュアライゼーション ツール
PREMIUM、ULTIMATE



モデリング、アニメーション、レンダリングソフトウェアの 3ds Max を使用して、説得力のある建築ビジュ

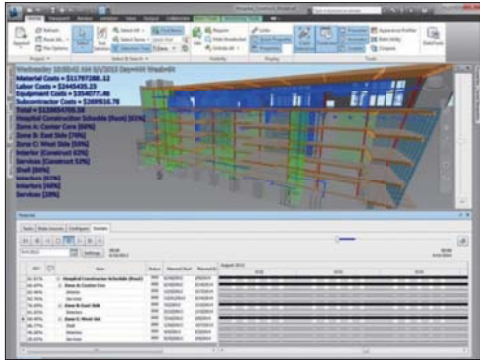
アライゼーションを作成することができます。建築設計者、エンジニア、ビジュアライゼーション スペシャリスト用に、ビルディング インフォメーション モデリング (BIM) のワークフローを拡張する高度な 3D 建築ビジュアライゼーション ツールが用意されています。使いやすいレンダリング ツールと 3D アニメーションツールにより、アイデアをより効果的に提案し、より多くのビジネスを獲得することができます。3ds Max は、ファイル形式として .rcp と .rcs をサポートします。そのため、設計者は、ReCap (英語)、AutoCAD、Revit、Inventor など、オートデスクの他のソフトウェアを使用して、接続されたリアリティ キャプチャのワークフローを活用することができます。3ds Max と Revit の統合が改善され、読み込み速度が上がりました。また、インスタンス化、追加の BIM データ、複数のカメラも改善されました。

クラウド レンダリング
STANDARD、PREMIUM、ULTIMATE ※クラウドサービス

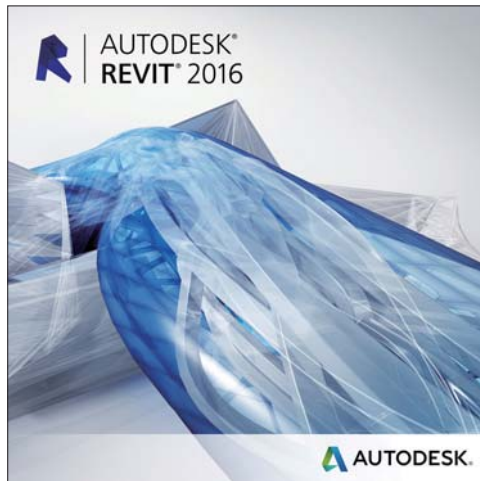


A360 のクラウド レンダリング機能 (Rendering in Autodesk A360) により、フォトリアルなビジュアライゼーションを作成することができます。デスクトップを占有したり、専用のレンダリング ハードウェアを使用する必要はありません。

Navisworks Manage による設計検証
ULTIMATE



高度なプロジェクト レビュー ツールを使用して、設計の検証、不整合の解消、他部門との調整の改善を着工前に行うことができます。Navisworks Manage を使用すると、様々な形式の 3D モデルデータが統合されるため、プロジェクト成果のコントロール性が向上します。このソフトウェアの強力な分析機能を使用して、複数の部門間の調整の改善、不整合の解消、プロジェクトの計画立案をそれぞれ仮想的に行うことができます。



Autodesk Building Design Suite Premium エディションと Ultimate エディションに含まれる Revit® は、ビルディング インフォメーション モデリング (BIM) 用に開発されており、設計から施工 (建設) まで一貫性のある 3D モデルベースのプラットフォームにより、プロジェクトのコンセプト段階のアイデアを実際の施工 (建設) まで結び付けることができます。Revit は、意匠設計、機械・電気・配管、構造エンジニアリングおよび施工 (建設) 用の機能を含む単一型のアプリケーションです。

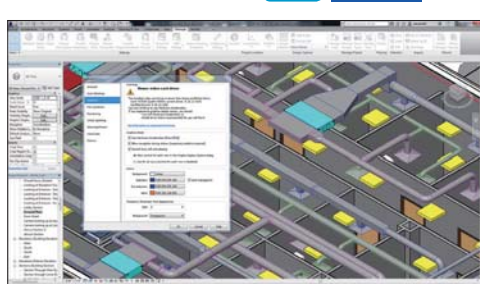
- 基本** : Revit の基本機能
- 意匠** : 意匠設計向けに適した機能
- 構造** : 構造設計向けに適した機能
- 設備** : 設備設計向けに適した機能
- 施工** : 施工に適した機能
- **日本のお客様からのご要望を反映させた機能**

改善されたソフトウェアのパフォーマンス

基本 **機能改善**

少ないメモリーを使用して大規模なモデルのエネルギー解析を行うことにより、パフォーマンスが向上します。Revit 2016 では、複雑な地形面、サブ領域、建築舗装の編集と再生成を行うこともできます。

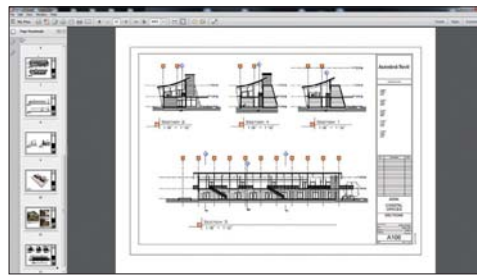
再描画中のナビゲーション



モデル間をスムーズに連続して移動することができます。ビューの周辺で画面移動、ズーム、オービットを行う際に、各ステップで要素の描画が終了するまで待つ必要はありません。再描画中のナビゲーション機能により、モデル内を移動するときにモデル要素の表示が一時的に中断されるため、ナビゲーションの速度が上がります。

PDF 書き出しファイル内で自動的にビューをリンク

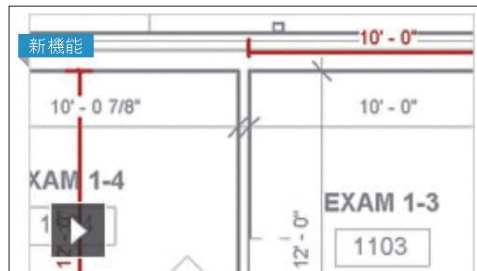
基本 **新機能**



Revit から書き出された PDF ファイルは、より円滑にかつ簡単にコミュニケーションをとることができます。自動的にリンクされたビューとシートを持つ電子 PDF ファイルとして、設計を共有することができます。PDF ファイル内の各ビュー タグはハイパーリンクになります。

拘束の一時表示モード

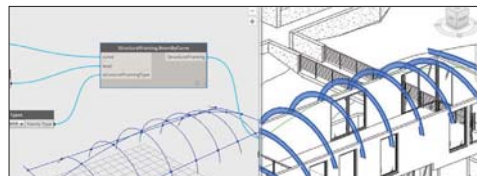
基本 **新機能**



拘束の一時表示モードを使用して、寸法と位置合わせに関するすべての制限事項をビューで表示することにより、Revit モデルの動作を正しく理解することができます。

Dynamo グラフィカル プログラミング

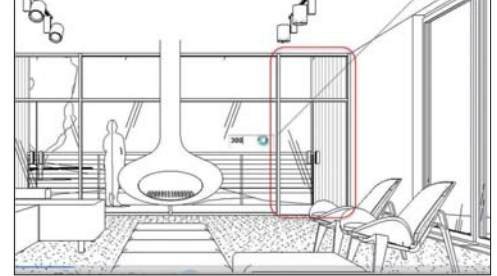
インタフェース **基本** **新機能**



プログラミングの方法を知らなくても、モデルの動作をカスタマイズして拡張することができます。Dynamo (英語) は、設計者用のビジュアルなプログラミング環境を提供します。この環境で、Revit の要素とデータのジオメトリや動作を駆動するロジックを視覚的に作成することができます。コンピューティショナルデザイン用の Dynamo グラフィカル プログラミング インタフェースは Revit とともにインストールされるため、Revit API の機能をより簡単に活用することができます。

パース ビューでの作業

基本 **新機能**



パース ビューで調整を行う新機能を使用して、生産性を向上させることができます。パース ビューで使用する新しいツールと機能により、ビューを変更することなく、すばやく変更を加えることができます。編集ツールを使用して、移動、位置合わせ、固定、固定解除を行うことができます。[ターゲットをリセット] ツールにより、カメラ ターゲットの位置を、ビューの範囲の中央に戻すことができます。3D ビューのパース表現と平行表現を切り替えることができます。

A360 Collaboration for Revit (日本未発売)

☆要 **CLOUD SERVICE SUBSCRIPTION 契約** **基本** **新機能**



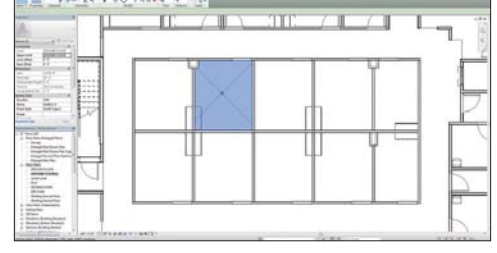
A360 Collaboration for Revit (英語) の Cloud Service Subscription を使用して、クラウド環境で BIM プロジェクト データに一元的にアクセスすることにより、建築と施工のプロジェクト チーム間でコラボレーションを行うことができます。モデル内で Communicator チャット ツールを使用して、リアルタイムで接続状態を保つことができます。

Revit と A360 統合機能により Collaboration for Revit を使って、プロジェクト チーム全体でビルディング インフォメーション モデルを共有して作業することができます。

A360 Collaboration for Revit は、北米のユーザが使用できる Cloud Service Subscription です。Subscription には、A360 Team ワークスペースの資格情報が含まれています。

さらに使いやすくなった IFC ファイル

基本 **新機能**



リンクされた IFC モデル内の既存のジオメトリを、Revit モデルの一部の面に基づくファミリの寸法、位置合わせ、スナップ、ホストの参照として使用することができます。IFC ファイルをリンクすると、

そのファイルの要素が既定のフェーズに割り当てられ、オープンスターダートをさらに緊密に Revit に統合します。ホスト モデル内で部屋を作成する際に、IFC ベースの壁要素の他閉塞域を認識して部屋の境界を定義することができます。



IFC ファイルの読み込み機能、リンク機能、書き出し機能を使用するには、Autodesk Exchange Apps (<https://apps.exchange.autodesk.com/ja>) から、最新版の「IFC 2016」をダウンロードしてください。

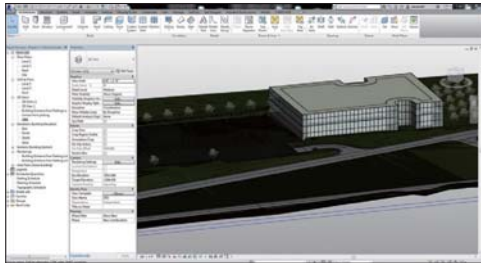
Project Solon のエネルギー情報 意匠 新機能



予測エネルギー パフォーマンス データを使用して、より収益性の高い適切な建築設計を選択することができます。Revit 2016 の「結果および比較」ダイアログからアクセスできる Project Solon のカスタムダッシュボードで、エネルギー パフォーマンスを検討することができます。

サイト計画ツール 施工 新機能

※要 **SUBSCRIPTION** 契約



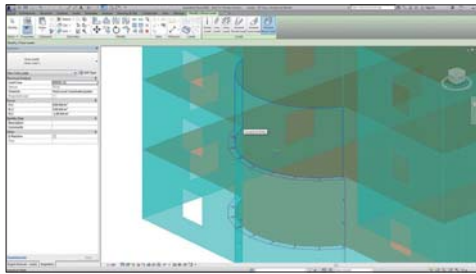
Revit 環境内で建築敷地の地形を作成し、建築敷地の計画コンセプトをエンジニアに伝えることができます。Autodesk Site Designer Extension for Revit(英語) は Revit 内で稼働し、ネイティブのファミリー、コンポーネント、地形面を使用します。そのため、サイト設計は、全体的なモデルの一部になります。マス グレーディング、舗装、道路、歩道、駐車場、擁壁の代替案を、すべて Revit 環境内でモデリングすることができます。



Autodesk Site Designer Extension for Revit を使用するには、Autodesk Exchange Apps (<https://apps.exchange.autodesk.com/ja>) から、最新版の「Autodesk Site Designer Extension for Revit」をダウンロードしてください。

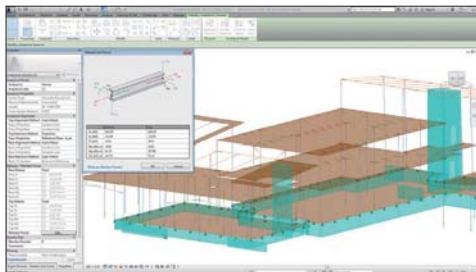
Revit と構造解析ソフトウェアとの統合を改善

構造 新機能



BIM ワークフロー内のデータの整合性が改善されました。必要な特性を表すパラメータを構造フレームと構造柱ファミリーに割り当てることにより、パラメータの整合性を高めることができます。面荷重の投影荷重パラメータを使用して投影荷重の値を定義することにより、Revit 内での解析モデルの操作と検討をより適切に行うことができます。これは、Revit と構造解析ソフトウェア間のモデルのやり取りの際に発生する問題の解決に役立ちます。

接合部設計に使う部材応力 構造 新機能



フレーム要素と柱要素の端点に対する新しい応力パラメータ セットを使用して、鉄骨接合部設計者や製造者に設計荷重を伝えることができます。これらの応力は、鉄骨接合部設計とコード チェック用のサードパーティ製ソフトウェアでも使用することができます。この新機能により、接合部設計と詳細作成専用のワークフローがサポートされます。

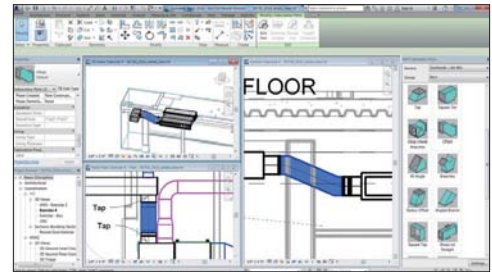
計算の設定オプション 設備 新機能



「計算」ドロップダウンの新しい設定により、大規模なプロジェクトにおけるモデルのパフォーマンスが向上します。

- 「パフォーマンス」設定により、ほとんどのダクトシステムと配管システムで、システム レベルの計算プロセスを実行する必要がなくなります。
- 「体積のみ」設定を使用して体積パラメータの計算をオフにすると、防火システム、排気システム、その他の種類の分類システムの作業時における Revit のパフォーマンスが向上します。

製造のための詳細図 設備 新機能



Autodesk Fabrication CADmep (日本未発売)、Fabrication ESTmep (日本未発売)、Fabrication CAMduct (日本未発売) のコンテンツを使用して製造準備のできたモデルを Revit 内で作成することにより、適切に調整されたモデルを作成することができます。製造コンポーネントにより、詳細な接合定義、付属品の詳細な制御、標準化されたセグメントの長さが指定され、長さ、数量、コーディネーションがより正確なものになります。Revit 環境内で MEP LOD 400 コンポーネントのモデリングと調整を行うことができます。

Energy Analysis for Revit 意匠 設備

※クラウドサービス 機能改善

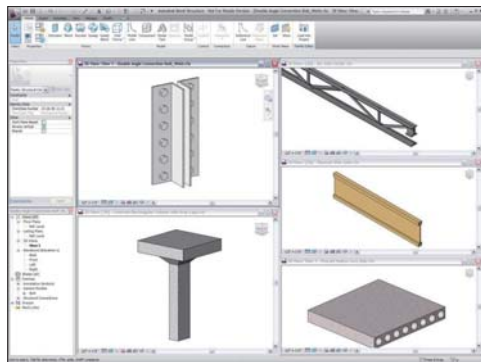


エネルギーとライフ サイクル のコスト見積りを比較できます。Green Building Studio 上で稼働するクラウドベースのエネルギー シミュレーション サービス Energy Analysis for Revit (英語) を使用して、エネルギーの消費レベルを判断することができます。また、エネルギー コストとライフサイクル コストの見積りを比較することができます。

さまざまな設計段階のニーズ、ワークフロー、正確性の目標に合うようにエネルギー解析モデルを作成できます。建築要素や部屋 / 空間要素から直接モデルを作成することも、コンセプト マスを使って手動で作成することもできます。Revit 2016 では、コンセプト マスと建物要素の両方を持つモデル上で解析を実行する機能が改善されています。この機能は、詳細化された設計とコンセプト段階の設計が混在している場合や、コンセプト マスをモデリングして既存の建物への追加物を表現する場合などに使用すると便利です。[エネルギー モデルを表示] ツールを使用してエネルギー解析モデルを作成し、Revit のコンテキスト内で表示することができます。エネルギー モデルを表示するために、そのモデルを gbXML や Autodesk Design Review に書き出す必要はありません。

[結果および比較] ウィンドウの「エネルギー コスト範囲」ダッシュボードに、新しい解析ツールが追加されました。このツールにより、解析後の建物モデルの現在のエネルギー コストと、指定された変数に対する変更によって全体的なコストをどの程度削減できるかを確認することができます。

パラメトリック コンポーネント **基本**



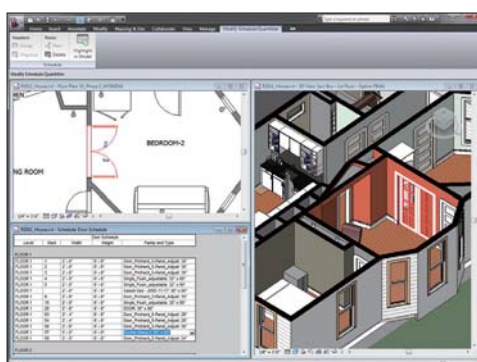
パラメトリック コンポーネントを使用することにより、段階的に詳細度を上げて設計の意図を表現することができます。Revit で設計されたすべての建築コンポーネントの基礎となるパラメトリック コンポーネントは、設計とフォーム作成用のオープンでグラフィカルなシステムを提供します。パラメトリック コンポーネントは、キャビネットや設備機器など最も複雑なアセンブリ、また壁や柱など最も基本となる建物のパーツにも使用できます。プログラミング言語やコーディングは不要です。

ワークシェアリング **基本**



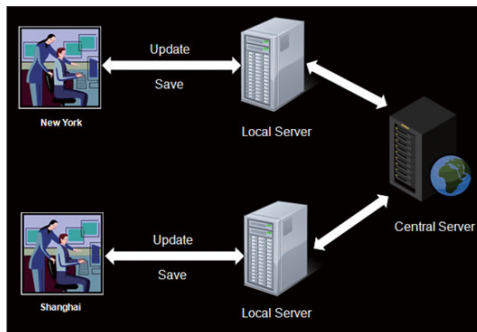
コラボレーションを行うための効率的な方法をチームで選択し、チームのワークフロー要件とプロジェクト要件に基づいてコラボレーションを行うことができます。ワークシェアリングにより、パラメトリックな建築モデリング環境のメリットをプロジェクト チーム全体で活用することができます。複数の分野の Revit ユーザーが同一のインテリジェントなビルディング インフォメーション モデルを共有して、中央ファイルに作業内容を保存することができます。Revit のワークシェアリング機能により、すべてのコラボレーション モード（完全なオンザフライ モード、共有モデルへの同時アクセス モード、プロジェクトをいくつかの独立した共有単位に分割する分割モード）を使用することができます。これにより、プロジェクト要素やシステムを、個別に管理されるリンク モデルに分割することができます。

双方向のやりとり **基本**



調整された単一のデータベース内にすべてのモデル情報を格納する機能により、ミスと漏れを最小限に抑えることができます。情報の改定や変更は、モデル全体で自動的に反映されます。Revit のパラメトリック変更エンジンにより、変更が行われた場所（モデル ビュー、図面シート、集計表、断面図、計画）にかかわらず、自動的に変更内容が調整されます。

Revit Server **基本**



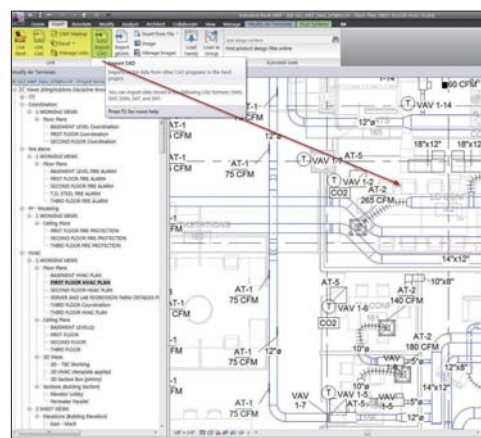
広域ネットワーク (WAN) 経由で Revit Server を使用することにより、Revit 共有モデル上でさらに簡単にチームのコラボレーションを行うことができます。複数のローカル サーバからアクセスできる単一のサーバで、複数の Revit モデルを中央ファイルで統合して管理できます。WAN 接続が失われた場合も、組み込まれた冗長性機能によって保護されるようになっています。

IFC 認定とリンク **基本**



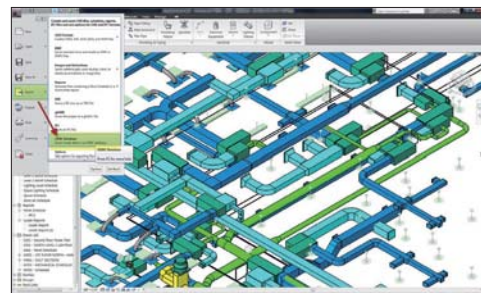
Revit は、Industry Foundation Classes (IFC) 規格の 2x3 Coordination View インポートおよびエクスポートについて、buildingSMART International に認定されています。標準に準拠する任意の設計プログラムに IFC ファイルを読み込むことにより、建築業界、エンジニアリング業界、建設業界全体にわたる大規模な相互運用性がサポートされます。オートデスクが BIM との相互運用性をサポートする方法 (<http://www.autodesk.com/campaigns/interoperability>) について確認してください。

Revit の相互運用性 **基本**



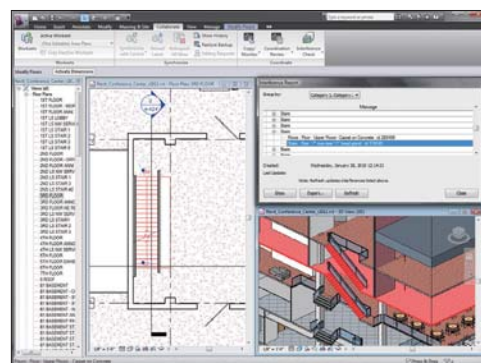
大規模なプロジェクト チームのメンバーと効率的に作業を行うことができます。Revit により、DWG™、DXF™、DGN、IFC データなどの一般的な形式で、データの読み書きやリンクを行うことができます。重要なメタデータを持つ建物モデルや建物外構を土木設計ソフトウェア AutoCAD Civil 3D に書き込み、3D 機械設計ソフトウェア Inventor からモデルを読み込むことができます。オートデスク製品は、BIM の相互運用性 と、オープン ソース データ交換方式手法 (IFC など) をサポートします。Revit は、IFC 規格の 2x3 Coordination View 2.0 インポートおよびエクスポートとして buildingSMART Industry に認定されています。BIM の総合運用性についての詳細（英語）
<http://www.autodesk.com/campaigns/interoperability>

外部データベースへのインターフェース **基本**



Revit のモデル データを任意の ODBC 準拠データベースに出力することにより、サードパーティ ツールと簡単に通信することができます。見積り、計画、購買、施設管理ツールが含まれています。

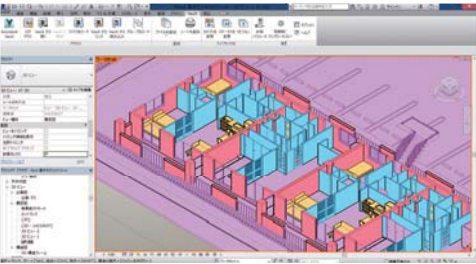
干渉チェック **基本**



干渉チェック ツールを使用することにより、主要

な建物要素とシステムを適切に調整して矛盾を回避し、施工内容の変更とコスト超過に伴うリスクを減らすことができます。このツールは、Revit モデルをスキャンして要素間の矛盾を特定し、選択されたすべての要素またはモデル内のすべての要素で交点を検出します。

データ管理 ソフトウェア Vault との統合 **基本**



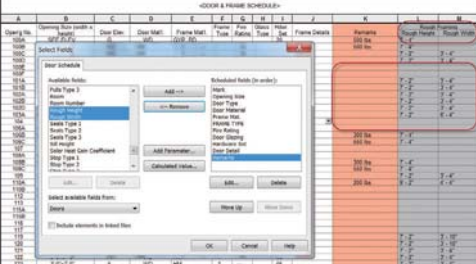
時間を節約し、データの精度を向上させます。データ管理 ソフトウェア Vault を Revit で使用すると、計画プロセスから設計プロセス、施工プロセスに至るまで、建築プロジェクト、エンジニアリング プロジェクト、複数分野にわたるプロジェクトに関連するデータの管理をより効率的に行うことができます。

Autodesk Exchange アドイン アプリケーション **基本**



<https://apps.exchange.autodesk.com/ja> アドインと拡張コンテンツ ライブラリを使用して、Revit の機能を拡張することができます。Web からダウンロードしてアクティブな Revit セッションに直接インストールすると、豊富なデータを持つビルディング インフォメーション モデルを効率的に作成することができます。

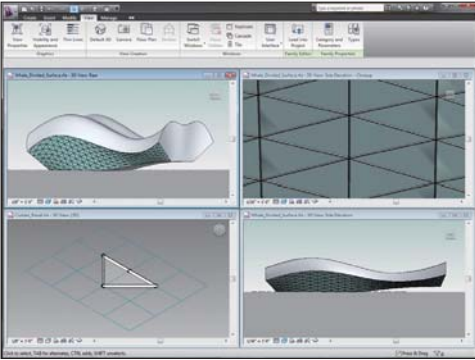
集計表 **基本**



モデル内の情報のテーブルベース ビューを作成することができます。集計表には、プロジェクト内の各要素のプロパティから抽出された情報が表形式で表示されます。設計プロセスの任意の時点で集計表を作成することができます。集計表に影響するような変更をプロジェクトに加えると、集計表が自動的に更新され、変更内容が反映されます。

- 図面シートに集計表を追加することができます。
- 要素のグラフィカル情報を伝えるイメージを集計表に含めることができます。
- スプレッドシート プログラムなど、別のソフトウェア プログラムに集計表を書き出すことができます。

コンセプト デザイン ツール **基本**



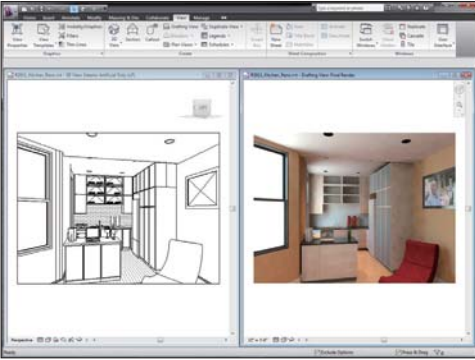
フリーフォームのモデルを簡単にスケッチして作成し、作成したフォームをインタラクティブに操作することができます。設計やドキュメント作成へよりスムーズに移行できるよう、フォームおよびジオメトリを実際の建築コンポーネントとして定義します。Revit は、設計の過程でパラメトリック フレームワークをフォームに自動構築し、優れたコントロール、正確性、柔軟性を提供します。

BIM コンテンツ カタログの検索 **基本**



無償の製品仕様書または一般的な建築製品と、関連する設計コンテンツを使用して、Revit モデルを拡張することができます。建築設計者、エンジニア、その他の設計専門家は、専用サイト（英語）：Autodesk Seek (<http://seek.autodesk.com>) により、アクティブな Revit のデザイン セッションについて、商標付きの BIM ファイル、汎用的な BIM ファイル、モデル、図面、製品仕様の検索、プレビュー、ダウンロードをすばやく行うことができます。

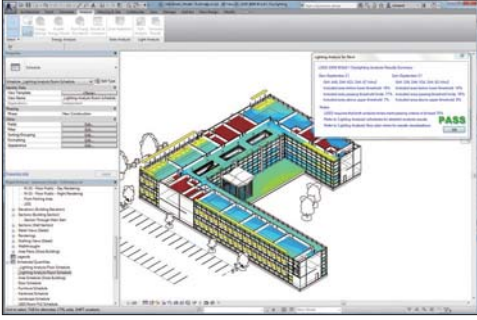
3D デザイン ビジュアライゼーション **意匠**



Revit の 3D ビジュアライゼーション機能により、着工前に、プロジェクトの内容を深く理解することができます。着工前に、複雑な有機的フォームを検討したり、設計と照明の相互作用を調べたり、計画と地域住民への対応の設計を検証したり、建物を市場に出したりすることができます。

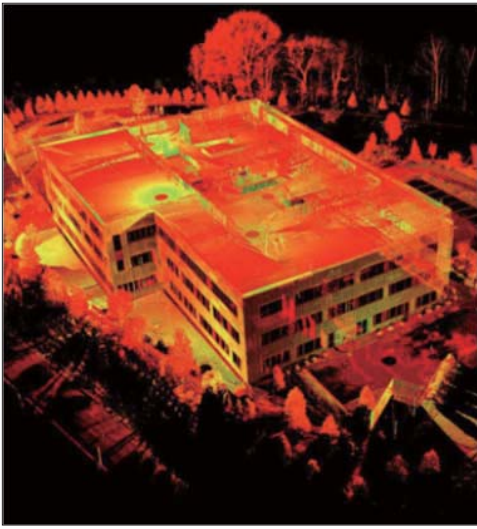
Lighting Analysis for Revit **意匠**

※クラウドサービス



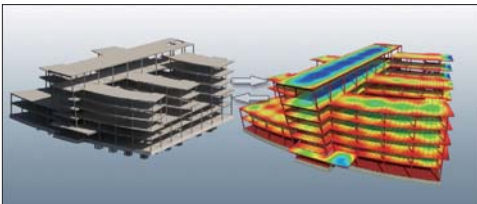
高速で正確な自動 LEED 昼光解析、電気照明解析、太陽光照明解析を、Revit のデザイン環境内で直接実行することができます。A360 Rendering を使用するクラウド サービスの Lighting Analysis for Revit（英語）により、電気照明と太陽光照明の結果を Revit モデル上で直接かつ迅速に反映させることができます。結果は、一般的に使用されるシミュレーション ツールである Radiance に対して検証され、キャンバス内にすばやく表示されます。

点群ツール **意匠**



BIM プロセス内に直接接続されたレーザー スキャンを持つ現況モデルを作成することにより、リノベーション プロジェクトと改修プロジェクトを迅速に進めることができます。点群ツールにより、レーザー スキャンを直接 Revit 内に接続することができます。

双方向リンクと複数の解析パッケージ **構造**



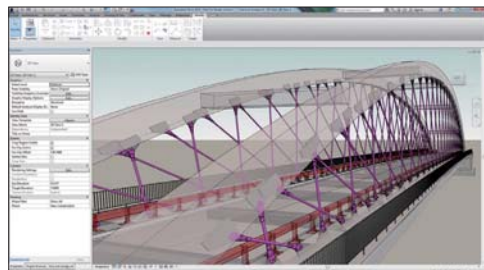
構造解析の結果をすばやく正確に Revit に取り込むことができます。解析結果により、Robot Structural Analysis Professional に双方向にリンクされているモデルが自動的に更新されます。この更新内容は、パラメトリック変更テクノロジーにより、モデルのビューと構造図全体で調整されます。

※ Maintenance Subscription をご契約、または Desktop Subscription をご購入いただくとご利用いただけます。

Revit はサードパーティの構造解析情報や設計プログラムともリンクし、構造解析情報を交換して利用することができます。共有できる情報の種類は以下のとおりです。

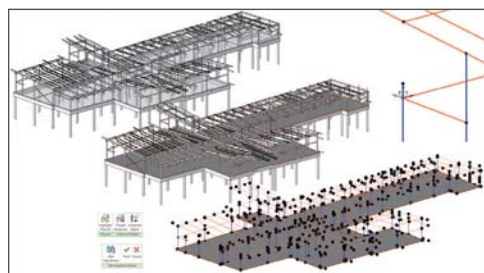
- リリース条件および境界条件
- 荷重および荷重組み合わせ
- 材質および断面性能

複数のマテリアルによるモデリング **構造**



建築設計に必要なマテリアルとジオメトリを使用して、構造をモデリングすることができます。構造エンジニアリング用の Revit には、鉄鋼、現場打ちコンクリート、プレキャスト コンクリート、石材、木材など、さまざまな材質の建材が含まれています。

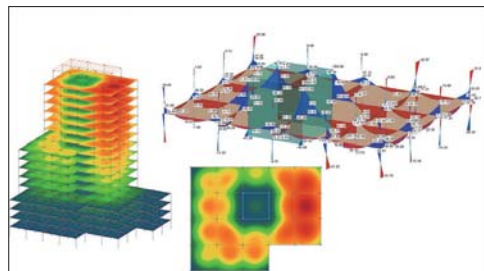
構造解析モデル **構造**



Revit で構造モデルを作成したときに自動的に生成された解析モデルを使用して、解析を実行することができます。Revit は、ドキュメント作成で使用される構造モデルと、構造解析と構造設計で使用される関連解析モデルを生成します。解析モデルは、構造モデルの詳細なエンジニアリングの記述を単純な 3D 表現で示したものです。解析モデルは、構造コンポーネント、ジオメトリ、マテリアルのプロパティ、荷重から構成されています。これらの要素により、エンジニアリング システムが構成されます。これらの要素は、解析アプリケーションや設計アプリケーションに書き出すことができます。

Structural Analysis for Revit **構造**

※クラウドサービス

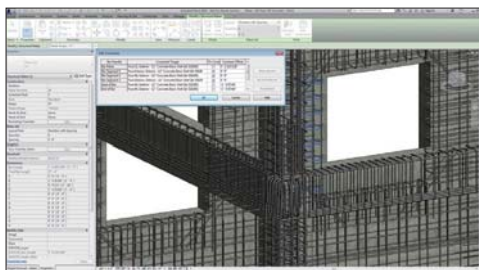


クラウドベースの構造解析を実行することができます。Revit で作業しながら解析処理を実行することができます。エンジニアと設計者は、Structural

Analysis for Autodesk Revit (英語) を使用して以下の処理を行うことができます。

- 解析結果を Revit 製品内で検討および視覚化することで、ワークフローの中断を最小化
- Revit で作業しながら同時に解析を実施したり、構造設計概念の並列解析を実行
- クラウドから構造解析の結果をダウンロード
- モデルの各要素に関する結果を、マップ、ダイアグラム、変形の形式で表示
- 新機能の自重解析を使用して、有限要素法 (FEM) を使わずに構造荷重と反力をすばやく判断することができます。

配筋詳細を改善 **構造**



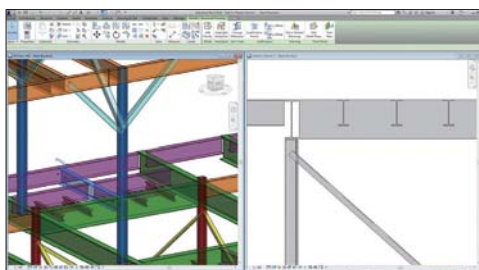
高度なビルディング インフォメーション モデリング (BIM) 環境で、3D の鉄筋コンクリート部材を作成することができます。

詳細で正確な配筋設計を作成することができます。鉄筋集計表を使用して、鉄筋施工図を作成することができます。

Revit 2016 での機能改善

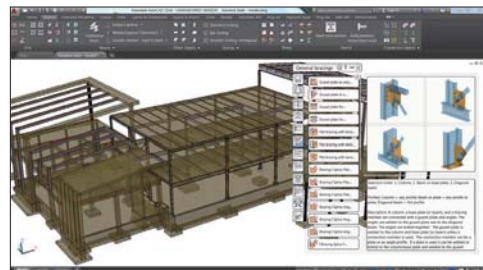
- [鉄筋の拘束] オプションに、[鉄筋の拘束] マネージャでの操作中にズームや画面移動を行う機能、拘束のグラフィカル選択機能、要素からかぶりをオフセットする機能などを追加
- パス配筋の 3D 形状が多様化
- 鉄筋の配置精度：配置時に [Shift] キーを使用して、ホスト面に対して平行に鉄筋を配置
- 新しい鉄筋の長さ丸めオプションで、各国固有の鉄筋のドキュメントの規格をサポート
- 追加の鉄筋集計表パラメータにより、配筋図を改善し、配筋詳細図作成の生産性を向上
- 鉄筋ビューをすばやく開いて更新

設計意図の正確なモデル定義 **構造**



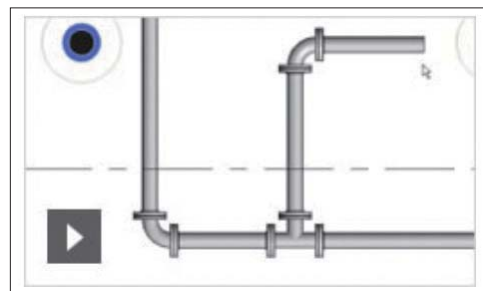
Revit で正確に定義された設計モデルにより、設計と施工図を適切に関連付けることができます。Steel Detailing と Revit 間の相互運用性により、構造オブジェクトのプロパティと特性について、詳細な情報を取得することができます。

Steel Detailing とのリンク **構造**



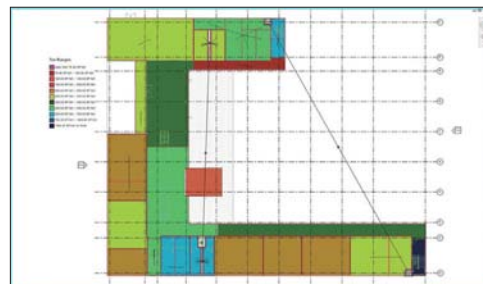
詳細な Revit モデルを使用して、鉄骨製作のドキュメントを作成することができます。Advance Steel (日本未発売) と Revit 間の相互運用性により、鋼構造設計から鉄骨製作に至るまでの BIM ワークフローをシームレスに進めることができます。

配管および電気設備コンテンツ **設備**



通信、消防、データ、ナース コールなどの電気設備コンテンツを使用して、電気設備システムの設計とモデリングを Revit 内で行うことができます。電気ケーブル ラック、データ ケーブル ラック、電線管を管理するためのモデリング機能を使用することができます。直線状セクション間に建具が個別に配置されているかどうかにかかわらず、ケーブル ラックと電線管は、複数をまとめて配置することも、個別に配置することもできます。コントロール パネルと個々のコントロールまたはデバイスにより、適切なパネルにオブジェクトを接続することができます。

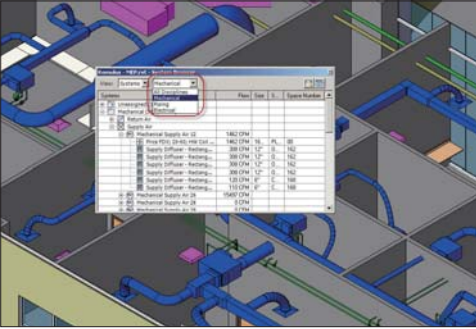
カラー塗り潰しの見取り図による冷暖房空調設備 / 電気設備の設計 **設備**



カラー塗り潰しの見取り図を使用して設計の意図を Revit 内で視覚的に表現することにより、設計の意図をより効果的に伝え、スプレッドシートの解読作業と、印刷された見取り図で色鉛筆を使用する作業を最小限に抑えることができます。すべての改定と変更を更新すると、モデル全体にわたって自動的に図面のカラー塗り潰しが実行され、プロジェクト期間におけるデータの整合性が向上します。ダクト作業と配管作業の 3D モデリングで、設計風量、実際の風量、機械設備ゾーンにカラー スキームを使用した冷暖房空調設備システムを作成できます。

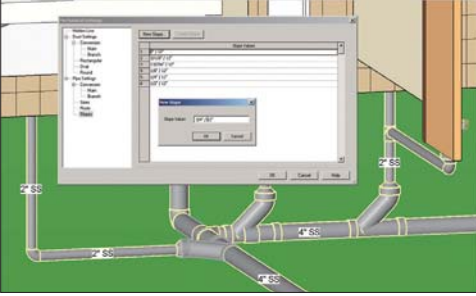
単位面積当たりの電力負荷および照明用の電気クラススキームを作成します。

システム ブラウザ 設備



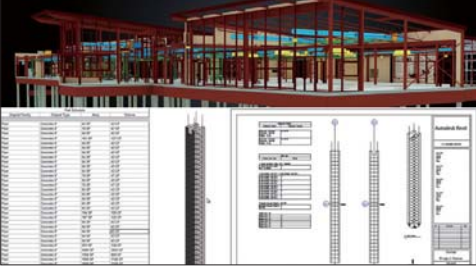
システム ブラウザ機能を使用して設計作業を柔軟に行い、重要なシステムに集中することができます。作業中のシステムだけを表示することができます。たとえば、電気システムだけを表示し、機械システムと配管システムを非表示にすることができます。要素が完全に接続され、より正確なサイズでシステム負荷要件に対応しているかを確認できます。システム内の任意の位置で、電気負荷合計、風量またはパイプの流れを確認できます。

勾配配管 設備



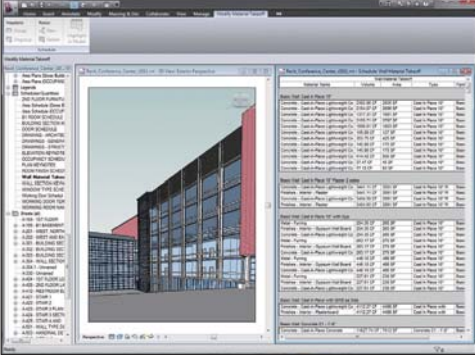
作成した配管の勾配値を、プロジェクトからプロジェクトに受け渡して設計作業を効率化できます。配管の立ち上がりを定義して、配管設計に簡単にレイアウトできます。配置されている複数パイプの配管に勾配を適用する際も、自動で計算を実行し、勾配の継続も簡単です。配管の始点または終点に高さをタグ付けすることで、勘に頼った作業と手動計算を最小限にできます。勾配パイプを経路付けしながら、作業中のパイプ高さを確認できます。

建築モデリング 施工



設計モデルから、有益な建築情報を得ることができます。壁仕上げと躯体の区別やコンクリートの現場打ちなどオブジェクトを分割して操作し、施工方法をより正確に示すことができます。モデル要素のアセンブリを柔軟にドキュメント化する機能で施工図を作成できます。

部材の拾い出し 施工



Revit のパラメトリック変更エンジンを使用して、部材拾い出しの精度を上げることができます。詳細な部材数量を計算し、コスト見積りの部材数量を確認することができます。

変位ビュー 施工



設計モデルの分解ビューを使用して建築アセンブリをより明確に描画し、施工シーケンスを表示することができます。分解モデルを好みのビューに設定できます。

日本向け拡張ツール (Extension)

意匠 構造 施工

※要 SUBSCRIPTION 契約



日本の建設業界のニーズに特化した様々な拡張ツール (Extension) を用意しています。

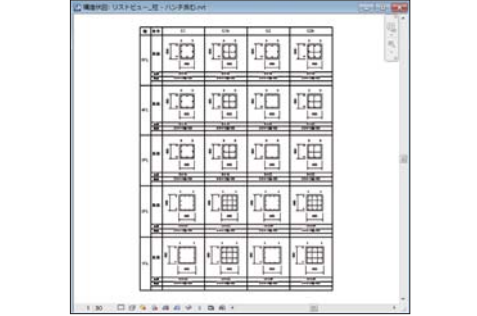
主な機能：

- 三斜分割による地積求積図の作成と面積算出
- 詳細寸法自動記入
- 平均地盤面を算出するための根拠図および根拠式の作成
- 平米からの坪・帖自動換算
- Excel 読み込み
- 申請時に必要な求積根拠図の作成及び根拠式の作成
- 建具姿図を含んだ建具表を作成し、用紙にレイアウト
- 作成済みのレベル（階高）に対して、一括で割り振り寸法・合計寸法を配置
- 作成済みの通り芯に対して、一括で割り振り寸法・合計寸法を配置

日本向け拡張機能を使用するには、Autodesk Exchange Apps (<https://apps.exchange.autodesk.com/ja>) から、最新版の「施工図 Extension」、「Japan Extension」、「Japan Standards Extension RST」をダウンロードしてください。

RC 断面リスト作成 構造

※要 SUBSCRIPTION 契約

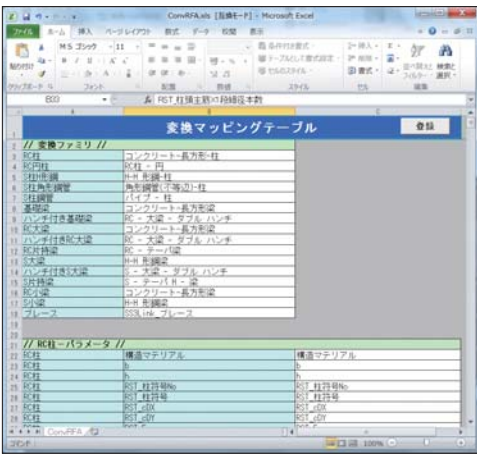


柱ファミリのうちファミリカテゴリが「構造柱」、ファミリのパラメータのうちモデルのマテリアルが「コンクリート」のものについて指定の構造平面ビューに RC 柱断面リストを作成します。また、梁ファミリのうちファミリカテゴリが「構造フレーム」、ファミリパラメータのうち、モデルのマテリアルが「コンクリート」について、指定の構造平面ビューに RC 梁断面リストを作成します。

「RC 断面リスト作成」を使用するには、Autodesk Exchange Apps (<https://apps.exchange.autodesk.com/ja>) から、最新版の「RC 断面リスト作成」をダウンロードしてください。

SS3 Link 構造

※要 SUBSCRIPTION 契約



Autodesk® Revit® → SS3

SS3 へのモデル送信では、Revit の構造柱・構造フレーム（大梁）、小梁・床・壁・開口・プレースの全体から、SS3 入力 CSV データの建物形状データ、柱部材・梁部材の定義・配置情報、小梁・床・壁・開口・プレースの定義・配置情報を SS3 入力 CSV ファイルとして出力する機能となります。

SS3 → Autodesk® Revit®

SS3 からのモデル読み込みでは、SS3 入力 CSV データの建物形状データ、柱部材・梁部材の定義・配置情報、小梁・床・壁・開口・プレースの定義・配置情報を読み取り、柱・大梁、小梁・床・壁・開口・プレースを Revit のモデルとして生成する機能となります。

「SS3 Link」を使用するには、Autodesk Exchange Apps (<https://apps.exchange.autodesk.com/ja>) から、最新版の「SS3 Link」をダウンロードしてください。

※ Maintenance Subscription をご契約、または Desktop Subscription をご購入いただくとご利用いただけます。

AUTODESK® SUBSCRIPTION



スマート、フレキシブル、
パワフル

Autodesk Subscription (サブスクリプション) の利用で、 業務プロセスを強化できます。

Autodesk Subscriptionが拡張され、Maintenance Subscription、Desktop Subscription、Cloud Service Subscriptionからなる、オートデスクが提供するすべてのSubscriptionサービスに対応するようになりました。

いずれのSubscriptionサービスを選んでも、最新のソフトウェアリリースやサービスの利用、厳選されたAutodesk A360クラウド サービス、柔軟なライセンス運用、技術サポートといった特典をご利用いただけます。



Maintenance Subscription

特徴と特典

Maintenance Subscription は、ソフトウェアやサービスを最新の状態に保ち、オートデスク製品への長期投資を最大限に生かす最もコスト効率の高いサービスです。



最新版ソフトウェアの入手
柔軟なライセンス運用
Autodesk A360
クラウドの特典
技術サポート

- 最新版を使用し、常に最新版のソフトウェアをご利用いただけるため、競争力を維持できます。
- 柔軟なライセンス運用で、必要なときに、必要なツールをご利用いただけます。
- Autodesk A360 クラウドサービスで、モバイル性の向上、コラボレーションの改善、設計の最適化を可能にします。
- 問題を迅速に解決するための技術サポートで生産性を維持します。



Desktop Subscription

特徴と特典

Desktop Subscription では 1 ヶ月、3 ヶ月、1 年間および複数年単位でソフトウェアの費用をご利用の期間にあわせて支払うことができるため、永久ライセンスよりも適応力が増し、先行投資を抑えることができます。



Maintenance
Subscription と
同様のメリット
初期費用を
抑えられる
ライセンスの
増減が簡単
リスクを軽減

- 最新のソフトウェアリリースの入手、必要な Autodesk A360 クラウドサービス、技術サポートへアクセス。
- 低コストでの導入。ライセンスの初期投資や長期の使用を余儀なくされることなく、経費を調整できます。
 - 短期間のプロジェクトや人材ニーズの変化に合わせて拡張や縮小を簡単に行えます。
 - リスクの少ない、優れた機能。



Cloud Service Subscription

特徴と特典

Cloud Service Subscription をご契約いただくと、いつでもどこからでもさまざまな種類のクラウド サービスとソフトウェア サービスをご利用いただくことが可能になり、大量の演算処理を必要とするタスクを迅速に処理したり、効果的なコラボレーションを実現することができます。



Maintenance
Subscription と
同様のメリット
実質無限な
演算処理能力
コラボレーション
を単純化
ワークフローを
効率化

- 高度なクラウドコンピューティング能力。デスクトップを占有することなく、高価な専用ハードウェアへの投資を必要とせずに、複雑でリソースに負荷のかかるタスクを実行できます。
- クラウドによる広範なチームとのコラボレーション機能。オフィスからでもモバイル端末からでも、リアルタイムに作業できます。
- 時間や場所を問わないプロジェクトファイルへのアクセス。Web やモバイル端末からアクセスでき、プロジェクトのライフサイクル全体のワークフローを効率化します。
- 最新版のサービスを利用。柔軟なライセンス運用や技術サポートを利用可能。

詳細は、autodesk.co.jp/subscription をご覧ください。

Autodesk® Subscription の特典

Autodesk Subscription で競争力を維持

常に最新のソフトウェアと機能を利用できるMaintenance または Desktop Subscription では、アップグレード費用を抑え、ソフトウェアにかかる費用を計画的に管理することができます。効果的かつ経済的に、常に競争相手の一歩先を行きましょう。

賢い選択で最高の価値を

Autodesk Subscription は、コスト効率よく、ソフトウェアやサービスを最新の状態に保ち、オートデスク製品への長期投資を最大化できます。

オートデスク ソフトウェアの最新リリースをいち早く入手できるので、最新のテクノロジーと時間節約機能を使って生産性を高めることができます。また、1 年契約または複数年契約を選択し、期間中にかかる費用をあらかじめ把握することができるため、ソフトウェアにかかる費用を管理しやすくなります。

機能と利点

次の機能と特典があります。

- 最新版がリリースされるとすぐに入手できるので、常に最新の状態を維持し、競争力を維持できる
- 柔軟なライセンス運用により、必要な場面で必要なツールを利用できる
- A360 クラウド特典により、モバイル性とコラボレーションを向上して設計を最適化できる
- 技術サポートを利用して問題を迅速に解決し、生産性を維持できる

最新版および拡張機能の入手

競争で優位に立つ

Autodesk Subscription を契約すると、常に最新かつ最強のツールを利用できるようになります。製品リリースと拡張機能をいち早く入手できるので、年間を通じて競争力を維持できます。また、Autodesk Subscription ではアップグレード費用を抑えながら常に最新のソフトウェアと機能を利用でき、ソフトウェアにかかる費用を計画的に管理することもできます。効果的かつ経済的に、常に競争相手の一歩先を行きましょう。

柔軟なライセンス運用

必要な形態で作業する

社内および社外のチームとのコラボレーションでは、適切なタイミングおよび場所で適切なソフトウェアを使用できるようにしておく必要があります。次のような特徴をもったAutodesk Subscription の柔軟なライセンス運用*により、いっそう自由にソフトウェアを使用することができます。

前バージョンのライセンス使用权: 特定のバージョンを使ってプロジェクトを進める必要がある場合があります。前バージョンのライセンス使用权により、デスクトップ ソフトウェアの前バージョンと最新バージョンの両方を使用してプロジェクトを遂行できます。*

自宅使用权 (ホーム ユース): いつもオフィスで作業が発生するとは限りません。自宅使用权により、オフィスでも自宅でもソフトウェアを使用できます。

海外使用权: 出張で遠方に行かなければならない場合でも、海外使用权により、ライセンスの有効なソフトウェアを、購入した国以外の場所**で最大90日間使用できます。

技術サポート オプション

必要なサポートを受ける

Autodesk Subscription では、ニーズと予算に合わせて技術サポート レベルを選択することができます。いずれのオプションでも、インストールおよび環境設定に加えて、お使いのソフトウェアおよびクラウド サービスのトラブルシューティングに関するサポートを受けられます。

ベーシック サポート: Autodesk Subscription に付属のベーシック サポートでは、オートデスクのオンライン サポート サービス パッケージを利用できます。ベーシック サポートの内容は、以下の通りです。

- サポート フォーラム コミュニティ
- 1 対1 のオートデスクWeb サポート
- ヘルプ ドキュメントを備えたオンライン ナレッジベース、チュートリアル、トレーニング ビデオなど、オートデスク オンライン サポートを利用できます。また、オートデスク テクニカルソリューションやサポート フォーラム コミュニティに投稿された質問とその回答を検索することも可能です。

Autodesk Subscription をご契約のお客様はオプションとして、アドバンス サポートやエンタープライズ プライオリティ サポートといったアドオンサービスを購入することも可能です。これらのサービスは、よりすばやく課題を解決したり、生産性を最大化したり、ダウンタイムを最小化するのに役立ちます。

アドバンス サポート: オートデスクのシニア サポートスペシャリストによる1 対1 の電話サポートおよびWeb でのサポートを提供します。アドバンス サポートは、オートデスクのシニア サポートスペシャリストによるグローバルな電話サポート（無制限、優先対応、1 対1 での対応、時間外での対応***）、リモートデスクトップ サポート、Web サポートにおける優先対応オプションなどの特徴があります。

エンタープライズ プライオリティ サポート: オートデスクの大企業様向けプレミアム サポート サービスです。問い合わせ内容に関する最新ステータスの逐次レポート、解決策/ 回避策提供までの目標時間の設定に加え、オートデスク プロダクト サポートにおける最優先対応といった特徴があります。また、このサービスには包括的なプロアクティブサポート プログラム、およびすべての顧客ニーズを直接お聞きするサポート アカウント マネージャーによる支援など、その他のサービスも含まれます。

* Autodesk Subscription 特典には使用条件が適用されます。製品および言語によっては、ご利用いただけない特典もあります。クラウド サービスへのアクセスにはインターネット接続が必要であり、サービス利用規約に記載されているあらゆる地理的制約を受けます。

** 欧州経済領域/ スイスで購入されたソフトウェアは、欧州経済領域およびスイスで使用することができます。

*** 時間外サポート（平日24 時間）は、3 つの地域の時間帯（南北アメリカは米国東部、欧州・中東・アフリカはヨーロッパ中央、アジア太平洋地域はシンガポール）を基準に定められており、月曜から金曜日の平日24 時間対応（当該地域のオートデスク休業日を除く）です。時間外サポートのサポート受付時間は、電話サポートの場合、Web からのサポート リクエストは常時送信可能です。

Autodesk A360 クラウドサービス

Autodesk A360 クラウドサービス でさらに便利に

Desktop Subscription をご購入、または永久ライセンスでMaintenance Subscription をご契約いただくと、Autodesk A360 で利用できるストレージ容量と機能が増え、柔軟なアクセス、コラボレーションの向上、革新的な設計の高速化により、作業のあり方が大幅に向上されます。また、クラウドのほぼ無限の演算処理能力によって設計をより効果的に視覚化および最適化することができます。

コラボレーションの合理化

Autodesk A360 を利用すれば、Webブラウザやモバイル デバイスを使って第三者に設計を直接表示または編集してもらったり、設計についてコメントしてもらうことができます（設計ソフトウェアは必要ありません）。コラボレーション プロセス全体がクラウド上に記録され、シームレスでよく整理されたワークフローを構築し、より優れた設計を作成することができます。

クラウド ストレージの容量増加

Desktop Subscription をご購入、または永久ライセンスでMaintenance Subscription をご契約いただくと、Autodesk A360 Drive で利用できるストレージ容量が1シートあたり25GBに増加します。クラウドにファイルを保存すれば、Web やモバイル アプリケーションを通していつでも、どこからでもファイルにアクセスしたり、チームとつながることができます。一元化された360ワークスペースを活用し、常に最も効率の良い場所で作業してください。

安心、安全なクラウド ワークスペース

Autodesk A360 クラウド プラットフォームは、Web サービス専用の安全で信頼性が高く、保護されたインフラストラクチャを利用しています。データおよび認証情報の保護とバックアップが行われるため、安心して作業やコラボレーションを行えます。

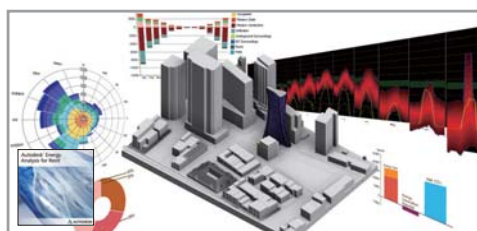
デスクトップからクラウドへとワークフローを拡張

Desktop Subscription をご購入、または永久ライセンスでMaintenance Subscription をご契約いただくと、Autodesk A360 の豊富なクラウド サービスおよびクラウド対応ソフトウェアを利用できるようになります。クラウドのほぼ無限の演算機能により、デスクトップに縛られることも高価なハードウェアを購入することもなく、タスクを実行できます。複数の設計案の性能をテストする、ビジュアライゼーションの数を短時間で増やすなど、ワークフローの一部として活用してください。



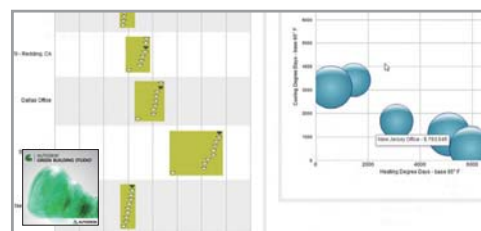
説得力のあるレンダリング

Rendering in Autodesk A360 でレンダリングすれば、時間とコストをかけることなく、説得力のあるフォトリアリスティックなビジュアライゼーションやパノラマを作成することができます。デスクトップに縛られることもなければ、専用のレンダリング ハードウェアを購入する必要もありません。



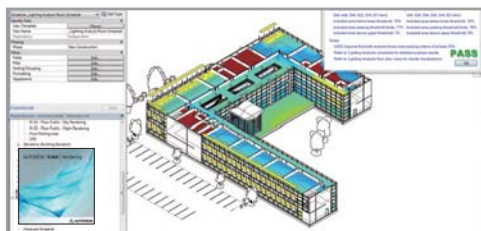
詳細なエネルギー解析

Energy Analysis for Autodesk® Revit® を使用すると、設計の早い段階でエネルギー消費量とライフサイクル コストを把握できます。



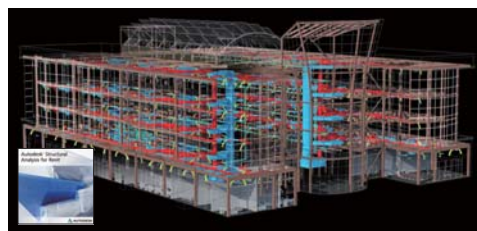
効率の最適化

Web ベースのエネルギー解析ソフトウェアである Autodesk® Green Building Studio® を使用すると、設計プロセスの早い段階で建物全体の解析を行ったり、エネルギー効率を最適化したり、カーボンニュートラルの実現に取り組むことができます。



さまざまな照明解析

高速で正確な自動 LEED 昼光解析、電気照明解析、太陽光照明解析を、Revit のデザイン環境内で直接実行することができます。Rendering in Autodesk A360 を使用するクラウド サービスの Lighting Analysis for Revit (英語) により、電気照明と太陽光照明の結果を Revit モデル上で直接かつ迅速に反映させることができます。結果は、一般的に使用されるシミュレーションツールである Radiance に対して検証され、キャンバス内にすばやく表示されます。



強力な構造解析

Structural Analysis for Autodesk® Revit® を使用すると、より多くの設計案を検討したり、着工前に性能を予測できます。

管理ツール

特典の管理と整理

契約管理者は、Autodesk Subscription センターで以下のレポートおよび管理ツールを使用して、組織内のSubscription 特典を簡単に管理することができます。

- **カバレッジ レポート:** ソフトウェア ライセンスとシートを追跡および管理できます。契約番号、契約開始日と終了日、グループ名、製品の詳細といった詳しい情報を確認することができます。
- **更新レポート:** 90 日以内に期限が切れる契約に関する更新情報を確認できます。
- **各種ユーザ管理機能とツール:** 特定のSubscription 特典にアクセスできるユーザを管理できます。
- **使用レポート:** 特定のクラウド特典を使用する際に消費されたクラウド クレジットを追跡できます。

Building Design Suite と各エディションの機能比較

Building Design Suite の Standard、Premium、Ultimate の 3 つを比較しています。すべてのエディションで建築設計ライフサイクル全体に活用できるコスト効率の高い単一パッケージ ソリューションを提供します。

☁ クラウドサービスは、Maintenance Subscription をご契約、または Desktop Subscription を購入いただくご利用いただけます。

BUILDING DESIGN SUITE 2015 エディション	STANDARD	PREMIUM	ULTIMATE
DWG™ 形式を使用して、設計、ドキュメント作成、共有	✓	✓	✓
説得力のあるイメージとプレゼンテーションを作成	✓	✓	✓
グラフィック コミュニケーションを使用して設計意図を伝達	✓	✓	✓
モデルベースの設計を活用して、より優れたビルを設計		✓	✓
ビジュアライゼーションで、アイデアをより効果的にアピール		✓	✓
統合された解析を情報に基づく決定に利用		✓	✓
整合性のある施工図を作成		✓	✓
プロジェクト成果の管理効率を向上			✓
マテリアルの定量化			✓
建材メーカーやファブリケータとのコラボレーション			✓
製作図面の作成をスピードアップ			✓
クラウドでレンダリング (Rendering in Autodesk A360) ☁	✓	✓	✓
Green Building Studio ☁	✓	✓	✓
Structural Analysis for Autodesk Revit ☁		✓	✓
Energy Analysis for Autodesk Revit ☁		✓	✓
Lighting Analysis for Autodesk Revit ☁		✓	✓
InfraWorks 360 LT			✓

Building Design Suite と Revit Architecture または AutoCAD の比較

製品



建築設計とドキュメント作成

インテリジェントな 3D モデルベースの設計ツール	✓	✓	
一貫性のあるモデルとドキュメント	✓	✓	
CAD ベースおよび BIM ベースのワークフロー	✓	△ (BIM のみ)	△ (CAD のみ)
点群の表示と編集	✓	✓	✓
製図およびドキュメント作成ツール	✓		✓
建築業界専用の AutoCAD (AutoCAD Architecture)	✓		
コンセプトualな 現場計画 ツール	✓		

建築シミュレーション

よりエネルギー効率の高い建物を設計	✓	✓	
数量化ツール	✓		
構造設計のシミュレーション	✓		
Structural Analysis for Autodesk Revit ☁	✓		
Energy Analysis for Autodesk Revit ☁	✓		
Lighting Analysis for Autodesk Revit ☁	✓		

建築プロジェクトのコラボレーション

施工モデリング ツール	✓	✓	
リアルタイム ナビゲーション	✓		
意匠設計、機械・電気・配管 (MEP) エンジニアリング、構造エンジニアリング用の BIM ツール	✓	△ (意匠設計のみ)	
DWG™ ファイルのネイティブ サポート	✓		✓

建築ビジュアライゼーション

映画品質のレンダリングと 3D アニメーション	✓		
高度なスケジュール機能とビジュアライゼーション機能	✓		
説得力のあるビジュアライゼーションとインタラクティブなプレゼンテーション	✓		
デザイン イラストレーションおよびグラフィック コミュニケーション ツール	✓		
クラウドでレンダリング (Rendering in Autodesk A360) ☁	✓		✓
Green Building Studio ☁	✓		

Autodesk Building Design Suite をご利用お客様の声

当社が Autodesk Revit を導入して BIM の活用を開始したそもその狙いは、3 次元のビジュアライゼーションの幅広い活用によって社内でのコミュニケーションを良くすることにありました。そうすることで、設計と施工という部門の枠を超えて社員同士が互いに理解を深めながら、より良い建物をつくっていこう、という思いが出发点にありました。そしてもう一つ、その流れのなかで重視するようになってきた BIM の働きが「検証」です。



株式会社サイト
建築設計室チーフ
一級建築士
清水麗嘉 氏

BIM は設計者のためというより、むしろ施主のためにあるのではないのでしょうか。つまり、建築については素人の施主が、それでもちゃんと思いどおりの建物を建てられるような……。そして、このような BIM を実現していくために、設計施工のプロセスの中でこれをどんな風に活用すれば良いのか考えていくことが、私たちにとってとても大切だと感じています。それはたぶん建築業界の皆で考え、取り組んでいく必要がある問題でしょう。どうか皆さんもぜひ Revit に触れ、BIM というものを体験してみてください。



有限会社アーキ・キューブ
代表取締役 一級建築士
大石 佳知 氏

既存の建物のインテリジェントで豊富なデータに基づくモデルデータを活用することによって、情報を整理し、作業で必要になればすぐにアクセスして必要とする人々に届けることができるようになります Revit を使用することによって、アセット管理が容易になり、スタッフの生産性を上げ、ビルをよりスマートに運用することができるようになります。

Bronson Healthcare Group
設備計画および開発グループ
エネルギー / 設備コーディネーター
Steve Hyde 氏

将来は、すべてのプロジェクトに BIM を活用する予定です。

私たちにとって、ライフサイクルコストを削減するのに BIM は必要不可欠なのです。

Bronson Healthcare Group
設備計画
および開発マネージャー
Michael DiFranco 氏

Autodesk Building Design Suite 2016 主な動作環境 (2015 年 6 月 1 日現在 最新の動作環境は Web サイトでご確認ください)

	Standard エディション
OS	Microsoft® Windows® 7 Home Premium、Professional、Ultimate、Enterprise Microsoft® Windows® 8/8.1、Pro、Enterprise ・Autodesk Showcase® 2016 および Autodesk ReCap™ 2016 は 32-Bit OS はサポート対象外 ・Autodesk Recap 2016 は Microsoft Windows 7 Home Premium はサポート対象外
CPU	32-Bit OS： 3.0GHz 以上で SSE2 テクノロジ対応の Intel Pentium 4 または AMD Athlon デュアルコア 64-Bit OS： AMD Athlon™ 64 または SSE2 テクノロジ対応の AMD Opteron™、または Intel EM64T と SSE2 テクノロジ対応の Intel Xeon® または Intel Pentium 4
メモリ	最小構成：2GB 以上（32-Bit OS：3 GB 以上推奨、64-Bit OS：8 GB 以上推奨） ・Autodesk ReCap 2016 および Autodesk Showcase 2016：4 GB 以上（8 GB 以上推奨）
ビデオ	最小構成：True Color 対応で 1,280 × 1,024 表示可能な Windows ディスプレイ アダプタ（1,600 × 1,050 以上推奨） ・AutoCAD 2016、AutoCAD Architecture 2016、AutoCAD MEP 2016、AutoCAD Raster Design 2016 で 3次元モデリングを行う場合：1280×1024 True Color 対応で 128MB 以上のメモリを搭載し、Pixel Shader 3.0 以降、Direct3D® に対応したワークステーションクラスのグラフィックス カードが必要 ・Autodesk® Showcase® 2016：512MB 以上のメモリ（1GB 推奨）を搭載し、DirectX® 9をサポートする認証済みグラフィックスカードが必要 ・Autodesk ReCap 2016：True Color 対応で 1600 × 1050 表示可能な Windows ディスプレイ アダプタ、256 MB 以上のメモリを搭載した OpenGL® 3.3 対応のグラフィックスデバイス ・オートデスク推奨グラフィックスは（www.autodesk.co.jp/graphics-hardware）をご覧ください。
ディスク空き容量	15GB 以上
必要なソフトウェア	Microsoft Internet Explorer® 9.0以降
インストールメディア	USB 2.0 からインストール、またはインターネット経由でのダウンロード
ネットワーク	ライセンス登録、必須コンポーネントのダウンロード、Subscription 対応機能の利用、ユーザ向け全ドキュメントの取得等にインターネット接続が必要

	Premium エディション
OS	Microsoft® Windows® 7 SP1 Home Premium、Professional、Ultimate、Enterprise Microsoft® Windows® 8/8.1、Pro、Enterprise ・Autodesk Showcase® 2016、Autodesk ReCap™ 2016、Autodesk Navisworks® Simulate 2016、Autodesk 3ds Max® 2016 および Autodesk Revit® 2016 は 32-Bit OS はサポート対象外 ・Autodesk Recap 2016 および Autodesk 3ds Max 2016 は Microsoft Windows 7 Home Premium はサポート対象外
CPU	32-Bit OS： 3.0GHz 以上で SSE2 テクノロジ対応の Intel Pentium 4 または AMD Athlon デュアルコア 64-Bit OS： AMD Athlon™ 64 または SSE2 テクノロジ対応の AMD Opteron™、または Intel EM64T と SSE2 テクノロジ対応の Intel Xeon® または Intel Pentium 4 ・Autodesk Revit 2016：シングルまたはマルチコア Intel® Pentium®、Xeon®、iシリーズまたは同等の SSE2テクノロジ対応の AMD® プロセッサ。Autodesk® Revit® 2016 は多くのタスクでマルチコアに対応し、フォトリアルなレンダリングでは、最大 16 コアまで対応
メモリ	最小構成：2GB 以上（32-Bit OS：3 GB 以上推奨、64-Bit OS：8 GB 以上推奨） ・Autodesk ReCap 2016、Autodesk 3ds Max 2016、Autodesk Showcase 2016 および Autodesk Revit 2016：4 GB 以上（8 GB 以上推奨）
ビデオ	最小構成：True Color 対応で 1,280 × 1,024 表示可能な Windows ディスプレイ アダプタ（1,600 × 1,050 以上推奨） ・AutoCAD 2016、AutoCAD Architecture 2016、AutoCAD MEP 2016、AutoCAD Raster Design 2016 で 3次元モデリングを行う場合：1280 × 1024 True Color 対応で 128MB 以上のメモリを搭載し、Pixel Shader 3.0 以降、Direct3D® に対応したワークステーションクラスのグラフィックス カードが必要。DirectX 11をサポートするグラフィックスカード推奨 ・Autodesk® Showcase® 2016：512MB 以上のメモリ（1GB 推奨）を搭載し、DirectX® 9をサポートする認証済みグラフィックスカードが必要 ・Autodesk ReCap 2016：True Color 対応で 1600 × 1050 表示可能な Windows ディスプレイ アダプタ、256 MB 以上のメモリを搭載した OpenGL® 3.3 対応のグラフィックスデバイス ・Autodesk 3ds Max 2016：オートデスク推奨グラフィックスに搭載されたグラフィックスカード ・Autodesk Navisworks Simulate 2016：True Color 対応で 1,280 × 800 VGA ディスプレイ以上（32-bit ディスプレイアダプタと 1,920 × 1,080 ディスプレイ推奨）、Direct3D と Shader Model 2 を搭載した OpenGL 対応グラフィックスカード（最小構成） ・Autodesk Revit 2016：True Color 対応で 1,280 × 1,024 以上表示可能なディスプレイアダプタ（1,600 × 1,050 推奨）、Shader Model 3 を搭載した DirectX® 11 対応のオートデスク推奨グラフィックスカード。150% 以下の DPI Display 設定 ・オートデスク推奨グラフィックスは（www.autodesk.co.jp/graphics-hardware）をご覧ください
ディスク空き容量	35GB以上
必要なソフトウェア	Microsoft Internet Explorer® 9.0以降
インストールメディア	USB 2.0 からインストール、またはインターネット経由でのダウンロード
ネットワーク	ライセンス登録、必須コンポーネントのダウンロード、Subscription 対応機能の利用、ユーザ向け全ドキュメントの取得等にインターネット接続が必要

	Ultimate エディション
OS	Microsoft® Windows® 7 SP1 Home Premium、Professional、Ultimate、Enterprise Microsoft® Windows® 8/8.1、Pro、Enterprise ・Autodesk Showcase® 2016、Autodesk ReCap™ 2016、Autodesk Navisworks® Manage 2016、Autodesk 3ds Max® 2016、Autodesk Revit® 2016、Autodesk InfraWorks™ 2016 および Autodesk Robot™ Structural Analysis Professional は 32-Bit OS はサポート対象外 ・Autodesk Recap 2016、Autodesk 3ds Max 2016、Autodesk InfraWorks 2016、Autodesk Robot Structural Analysis Professional 2016 はMicrosoft Windows 7 Home Premium はサポート対象外
CPU	32-Bit OS： 3.0GHz 以上で SSE2 テクノロジ対応の Intel Pentium 4 または AMD Athlon デュアルコア 64-Bit OS： AMD Athlon™ 64 または SSE2 テクノロジ対応の AMD Opteron™、または Intel EM64T と SSE2 テクノロジ対応の Intel Xeon® または Intel Pentium 4 ・Autodesk InfraWorks 2016：デュアルコア Intel® Core™ i2 または同等の AMD® プロセッサ（クアッドコア Intel® Core™ i7、6 コア Intel® Xeon® またはそれ以上の出来るだけ高性能のプロセッサ推奨）；レイ・トレース・レンダリングを行う場合、SSE 4.1 をサポートする CPU が必須 ・Autodesk Revit 2016：シングルまたはマルチコア Intel® Pentium®、Xeon®、iシリーズまたは同等の SSE2テクノロジ対応の AMD® プロセッサ。Autodesk® Revit® 2016 は多くのタスクでマルチコアに対応し、フォトリアルなレンダリングでは、最大 16 コアまで対応
メモリ	最小構成：2GB 以上（32-Bit OS：3 GB 以上推奨、64-Bit OS：8 GB 以上推奨） ・Autodesk ReCap 2016、Autodesk 3ds Max 2016、Autodesk Showcase 2016 および Autodesk Revit 2016：4 GB 以上（8 GB 以上推奨） ・Autodesk Inventor® 2016：8 GB 以上（16GB 以上推奨） ・Autodesk InfraWorks™ 2016：8 GB 以上（16GB以上推奨）
ビデオ	最小構成：True Color 対応で 1,280 × 1,024 表示可能な Windows ディスプレイ アダプタ（1,600 × 1,050 以上推奨） ・AutoCAD 2016、AutoCAD Architecture 2016、AutoCAD MEP 2016、AutoCAD Raster Design 2016 で 3次元モデリングを行う場合：1280 × 1024 True Color 対応で 128MB 以上のメモリを搭載し、Pixel Shader 3.0 以降、Direct3D® に対応したワークステーションクラスのグラフィックス カードが必要。DirectX 11をサポートするグラフィックスカード推奨 ・Autodesk® Showcase® 2016：512MB 以上のメモリ（1GB 推奨）を搭載し、DirectX® 9をサポートする認証済みグラフィックスカードが必要 ・Autodesk ReCap 2016：True Color 対応で 1600 × 1050 表示可能な Windows ディスプレイ アダプタ、256 MB 以上のメモリを搭載した OpenGL® 3.3 対応のグラフィックスデバイス ・Autodesk 3ds Max 2016：オートデスク推奨グラフィックスに搭載されたグラフィックスカード ・Autodesk Navisworks Manager 2016：True Color 対応で 1,280 × 800 VGA ディスプレイ以上（32-bit ディスプレイアダプタと 1,920 × 1,080 ディスプレイ推奨）、Direct3D と Shader Model 2 を搭載した OpenGL 対応グラフィックスカード（最小構成） ・Autodesk Revit 2016：True Color 対応で 1,280 × 1,024 以上表示可能なディスプレイアダプタ（1,600 × 1,050 推奨）、Shader Model 3 を搭載した DirectX® 11 対応のオートデスク推奨グラフィックスカード ・Autodesk Inventor 2016：Microsoft Direct3D 10 に対応したオートデスク推奨グラフィックスカード ・Autodesk InfraWorks 2016：1,280 × 1,024 以上の解像度に対応、8倍のアンチエイリアシング（8× AA）をサポートする2GB 以上のグラフィックスメモリを搭載し DirectX® 10.1 対応のグラフィックスカード（最小構成：2倍のアンチエイリアシングをサポート（2× AA）する1GB 以上のグラフィックスメモリを搭載しDirectX 10.1 に対応したグラフィックスカード） 例： デスクトップワークステーション向け：NVIDIA Quadro 5000 または 6000 モバイルワークステーション向け：NVIDIA Quadro 2000M、GeForce GT 650M など ・Autodesk Robot Structural Analysis Professional 2016：24-bit カラーに対応で、1,280 × 1,024 表示可能なディスプレイアダプタ、Open GL spec 1.4 以降およびDirectX 9 以降をサポートする専用ビデオカード
ディスク空き容量	50GB以上
必要なソフトウェア	Microsoft Internet Explorer® 9.0以降 ・Autodesk® Inventor® 2016：Adobe Flash Player 15 以降、Microsoft Excel 2007、2010 または 2013（iFeatures、iParts、iAssemblies、thread customization、Global BOM、Parts Lists、Revision Tables 及び spreadsheet-driven design をご利用の場合） Access 2007、dBase IV へのエクスポート、テキストおよび CSV フォーマットでの書き出しには64-bit Microsoft Office、Microsoft .NET Framework 4.5以上 ・Autodesk Robot Structural Analysis Professional 2016：Results Connect には Microsoft Office Excel 2010 または32-bit版、64-bit版いずれかの Excel 2013 ・Autodesk® InfraWorks® 2016：Microsoft® Internet Explorer® 11 以降、最新のGoogle® Chrome™ または 最新のFirefox® web ブラウザ
インストールメディア	USB 2.0 からインストール、またはインターネット経由でのダウンロード
ネットワーク	ライセンス登録、必須コンポーネントのダウンロード、Subscription 対応機能の利用、ユーザ向け全ドキュメントの取得等にインターネット接続が必要

購入先
Autodesk Building Design Suite、Subscription、その他のオートデスク製品は、下記にてご購入ください。
オートデスク認定販売パートナー
www.autodesk.co.jp/reseller
オートデスク オンラインストア
www.autodesk.co.jp/estore

Autodesk Building Design Suite に関する詳細
www.autodesk.co.jp/buildingdesignsuite

AUTODESK®

オートデスク株式会社

www.autodesk.co.jp

〒104-6024 東京都中央区晴海 1-8-10 晴海アイランドトリントスクエア オフィスタワー X 24F

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 3-5-36 新大阪トラストタワー 3F

Autodesk、ATC、AutoCAD、Showcase、SketchBook、Revit、3ds Max、Navisworks、Inventor は、米国および／またはその他の国々における、Autodesk、Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。該当製品およびサービスの提供、機能および価格は、予告なく変更される可能性がありますので予めご了承ください。また、本書には誤植または図表の誤りを含む可能性がありますが、これに対して当社では責任を負いませんので予めご了承ください。
© 2015 Autodesk, Inc. All rights reserved.

オートデスク認定販売パートナー